

もうひとつの愛と苦悩

イル・トロヴァトーレ

ジュゼッペ・ヴェルディ作曲

配役

レオノーラ（王妃の侍女） ソプラノ

アズチェーナ（ジプシーの女） メゾソプラノ

ルーナ伯爵（国王軍の司令官） バリトン

マンリーコ（吟遊詩人、反国王軍の司令官） テノール

スペイン内戦の時代

国王の重臣、ルーナ伯爵家には2人の息子がいた。しかし、弟は14年前にジプシー女にさらわれ、殺されてしまった。そのジプシー女はルーナ伯爵によって火刑により処刑された。息子の代になり、ルーナ伯爵は弟が生きている気がして、弟を探すが見つからない。

ルーナ伯爵は王妃の侍女レオノーラをひそかに恋している。一方、レオノーラは吟遊詩人マンリーコと相思相愛の中である。しかもマンリーコは反国王軍の司令官でもあり、その母親、アズチェーナはルーナ伯爵に処刑されたジプシー女の娘である。さらに、マンリーコはルーナ伯爵の弟であるが、二人ともそのことを知らない。そのような中で悲劇が進行する。

ルーナ伯爵のレオノーラに対する恋心と苦悩

アズチェーナの息子への愛と苦悩

レオノーラのマンリーコに対する愛と苦悩

の3つの形の愛と苦悩がある。